

指定管理者制度活用事業 評価シート(養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市恵楽園	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎聖風福祉会 ・代表者名 理事長 磯上 充 ・住所 川崎市川崎区池上新町3-1-8	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①養護老人ホーム事業(入所定員 140人) 在籍者数 119人(平成31年3月31日現在:入院不在者を含む)								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
	月末在籍者数	122	123	123	121	121	119		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		
月末在籍者数	119	116	117	117	117	119			
利用実績	②通所介護事業(通所定員 30人/日) 年間延べ利用者数 5,730人 定員に対する稼働率 89.5%								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
	延べ利用者数	466	526	469	543	539	476		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		
延べ利用者数	528	448	430	432	416	457			
利用実績	③居宅介護支援事業 給付管理者数(平成31年3月分)								
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	
	管理者数	29	28	15	3	2	0	77	
収支実績	①養護老人ホーム事業 (収入)								
	介護料収入	262,152,690							
	利用者等利用料収入	0							
	その他の事業収入	3,551,265							
	合計	265,703,955							
	(支出)								
	人件費	136,024,963							
	事業費	44,441,281							
	事務費+雑支出	87,731,815							
	合計	268,198,059							
	(収支差額)								
	▲ 2,494,104								
	②通所介護事業 (収入)								
	介護料収入	49,887,628							
	利用者等利用料収入	1,016,870							
その他の事業収入	479,169								
合計	51,383,667								
(支出)									
人件費	29,660,059								
事業費	7,066,711								
事務費+雑支出	4,325,034								
合計	41,051,804								
(収支差額)									
10,331,863									
③居宅介護支援事業 (収入)									
介護料収入	12,996,453								
利用者等利用料収入	0								
その他の事業収入	0								
合計	12,996,453								
(支出)									
人件費	14,123,415								
事業費	0								
事務費	183,458								
合計	14,306,873								
(収支差額)									
▲ 1,310,420									
(収入)									
介護料収入	325,036,771								
利用者等利用料収入	1,016,870								
その他の事業収入	4,030,434								
合計	330,084,075								
(支出)									
人件費	179,808,437								
事業費	51,507,992								
事務費	92,240,307								
合計	323,556,736								
(収支差額)									
6,527,339									
サービス向上の取組	○必要な人に必要なサービスが届くように地域包括支援センターや福祉事務所等に養護老人ホームの存在と役割を丁寧に案内し、虐待や単身生活に不安のある高齢者の要望にも応えていけるよう体制の整備に努めた。 ○通所介護事業で対象となる利用者特定し、音楽療法を行うことで目標としていた改善効果がそれぞれみられている。また、他施設で受入困難な方に対応できる体制にすることで稼働率の上昇にもつながった。 ○毎年満足度調査を実施し、調査の結果で満足度の低い項目の改善に取り組んでいる。								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
感染症への対策は適切に行われているか					
(評価の理由)					
<p>様々な事情により新規に入所される方の中には急を要する方も多く、相談依頼を受け、出来る限りの即時対応を図っている。入所者の心身低下の対策として、施設内の自治活動や各種クラブ活動(書道、俳句、民謡、生け花、絵画、組紐、踊り)の指導、入所者の状況に応じて個別に介護保険サービスの利用につなげている。</p> <p>また、定期的に学生の介護体験の受け入れや町内会と合同で防災訓練の実施、夏祭りの開催など地域交流を図っている。</p> <p>毎食前に嚥下体操、平日午前中に健康体操を実施して健康管理、推進を図っている。</p> <p>インフルエンザ予防接種をほぼ全員の利用者に実施。職員に対してもインフルエンザ予防接種費用を補助し、感染予防に努めている。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	2	2
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由)					
<p>通所介護では、他施設では受入困難な方を受入れることで利用率向上・収入増加のための取り組みがみられる。送迎の職員体制を2名にしていることで手厚い送迎を行っている。</p> <p>消耗品について納入業者と価格交渉を行い、品質が高く価格の安いものを購入し節約に努めた。</p> <p>施設の電気使用状況、具体的な節電対策について電力会社と検討し経費削減につなげている。収入については、法人本部の経理部門が管理している専用の口座で取扱ひ区別し、適正に管理している。また、利用者の預り金は、取扱要綱を定め、金庫に利用者ごとに区分し、誤処理が生じることのないよう、管理に努めている。法人本部、外部の税理士事務所からのチェック体制が整備されている。なお、今年度は介護者による預り金一部の紛失が発生し、再発防止策を策定した。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	4	8
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由)					
<p>通所介護では、他施設では受入困難な方を受入れることで利用率が向上した。また、利用者の認知症状、身体状況と合わせて音楽療法に適していると思われる利用者に参加していただき、改善効果がみられている。見識を深め「より良い支援」の実現に努めた。前年度に続き、「かわさき健幸福寿プロジェクト」に参加することで利用者の身体状況を把握するきっかけになり、参加された4人の方のADLの改善効果がみられた。</p> <p>養護老人ホームでは、必要な人に必要なサービスが届くように地域包括支援センターや福祉事務所等に養護老人ホームの存在と役割を丁寧に案内し、虐待や単身生活に不安のある高齢者の要望にも応えていく体制の整備に努めた。</p> <p>毎年満足度調査を実施し、調査の結果で満足度の低い項目の改善に取り組んでいる。苦情については、苦情解決責任者及び第三者委員への報告を行い、苦情解決、再発防止のための協議を行うなど適正に対応している。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	3	6
		安全・安心への取組	5	3	3
	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)				
	事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
	コンプライアンス	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。	5	2	2
		法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか			
	(評価の理由)				
職員を基準より多く配置するとともに、パート(清掃・食事補助・警備員)を雇用し、休日の職員体制の充実、利用者の生活支援の充実に努めている。外部研修や法人で執り行う研究発表会への積極的な参加を促し、その成果を内部の学習会等で発表してもらい、参加していない職員にも共有を図って業務に活かす取組をしている。また、居宅介護支援では、相談支援者としての専門性を確保するため、川崎市介護支援専門員連絡会に加入し、積極的に研修会に参加した。資格取得者に資格手当の支給、優秀な取組等に対しては法人から表彰を行うなど、職員のモチベーションアップに努めている。法人が安全管理マニュアルを設置し、事故発生防止について法人のリスマネジメント委員会がヒヤリ・ハットの集計、分析を行っている。今年度は、介護者による経済的虐待(預り金一部の紛失)が発生した。既に川崎市の指導の下、利用者の現金等の取扱い方法について改善策を策定し、再発防止に向け取り組んでいる。					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由)				
施設・設備については、定期点検のほか、警備員の施設見回り時に設備の劣化状況も見るようにして早期発見に努め必要な修繕を行っている。専任の清掃員を雇用し、手すりやトイレなどは小まめに消毒を行い感染予防にも努めている。外構の植栽は、ボランティアによる草刈りやシルバー人材センターによる中高木の剪定など、地域とも効果的に連携、交流しながら適正に管理、運営している。					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

今後も利用者一人一人の声を聴きながら心身機能低下への対策とともに「地域生活を見据えたアセスメントとモニタリング」を心掛け、可能な限り「介護老人ホームから地域社会へ再出発」できるよう、外部関係機関との連携強化等、支援の更なる改善に期待する。また、介護者による経済的虐待の発生については重く受け止め、コンプライアンスの更なる強化に努めること。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし